

金曜・夜

東京薬科大学 2021年 秋期公開講座

# 高校生物発展講座

— 高校教員（理科）対象 —

10/29(金) 17:30～18:50

発生だけではない細胞接着が関わる現象

— がん・免疫・血液凝固系疾患への関与 —

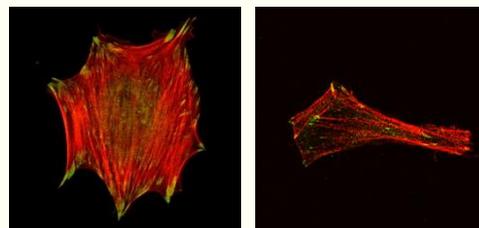
最先端の生命科学研究と  
高校生物をつなぐ！

講師：生命医科学科 米田 敦子

個体を形成する細胞の多くは、別の細胞や、コラーゲンなどを含む高分子集合体に結合して存在します。細胞接着と呼ばれるこの現象は、多細胞生物の胚発生や臓器形成に欠かせないだけでなく、免疫監視や血液凝固など高等動物の恒常性の維持に重要です。

本講座では、この現象と分子機構を概説し、細胞接着の異常が関わる病気（がん、血液凝固系疾患、免疫疾患、筋肉疾患など）についても紹介します。

【高校生物：生体物質と細胞、生命現象とタンパク質】



高分子集合体上に接着した正常繊維芽細胞(左)とがん細胞(右)  
(赤：アクチン細胞骨格、黄色：接着構造)

11/26(金) 17:30～18:50

天然有機化合物の生合成と天然物由来の医薬品

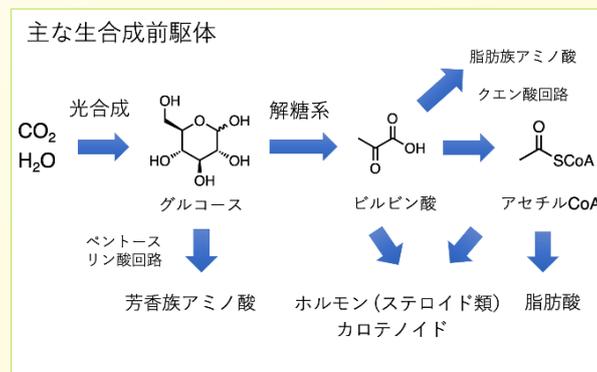
— 解糖系からアミノ酸・ホルモン・ビタミンへ —

講師：分子生命科学科 小林 豊晴

生物は代謝によりアミノ酸やホルモンやビタミンなどの多様な有機物を合成し、生命活動のために様々な形で利用しています。

本講座では、生物が代謝により合成する有機物の種類や合成する過程、およびそれらを由来とした医薬品などについて解説します。また、医薬品開発のもととなる、天然物由来の有機化合物を用いた酵素阻害機構の研究についても紹介します。

【高校生物：生命現象と物質、代謝】



会場：オンライン講座 (Zoom)

参加費：無料 (1回から受講できます)

お申込み頂いた方には、こちらから詳細をご連絡させていただきます。

お問合せ先：東京薬科大学 生命科学部 seiijimu@toyaku.ac.jp

申込み・詳細

